

アイリススタッフの取り組み

ウイルスを持ち込まない

- ・起床時の検温、体調のチェック
- ・訪問時には手洗いあるいは手指消毒
- ・不要な荷物、上着は持ち込まない



ウイルスのやり取りをしない

- ・顔やマスクを触らない
- ・お部屋の換気
- ・自身の顔を患者様の前に極力もっていかない



ウイルスを広めない

- ・スタッフの直行直帰の徹底（オフィスに集まらない）
- ・ミーティングはオンラインにて実施
- ・連絡は電話やメール、チャットを活用
- ・「不要不急の外出は控える」



啓蒙運動の実施

アイリススタッフは高齢者の方、障がい者の方に携わる医療人として、私生活より感染症に対する危機意識を持ち、自粛した生活を送っています。

それでも、やっぱり訪問されることが不安だな、、と感じたらお気軽に担当スタッフ、またはお電話でご相談ください！



アイリス治療院イメージキャラクター
ありすちゃん



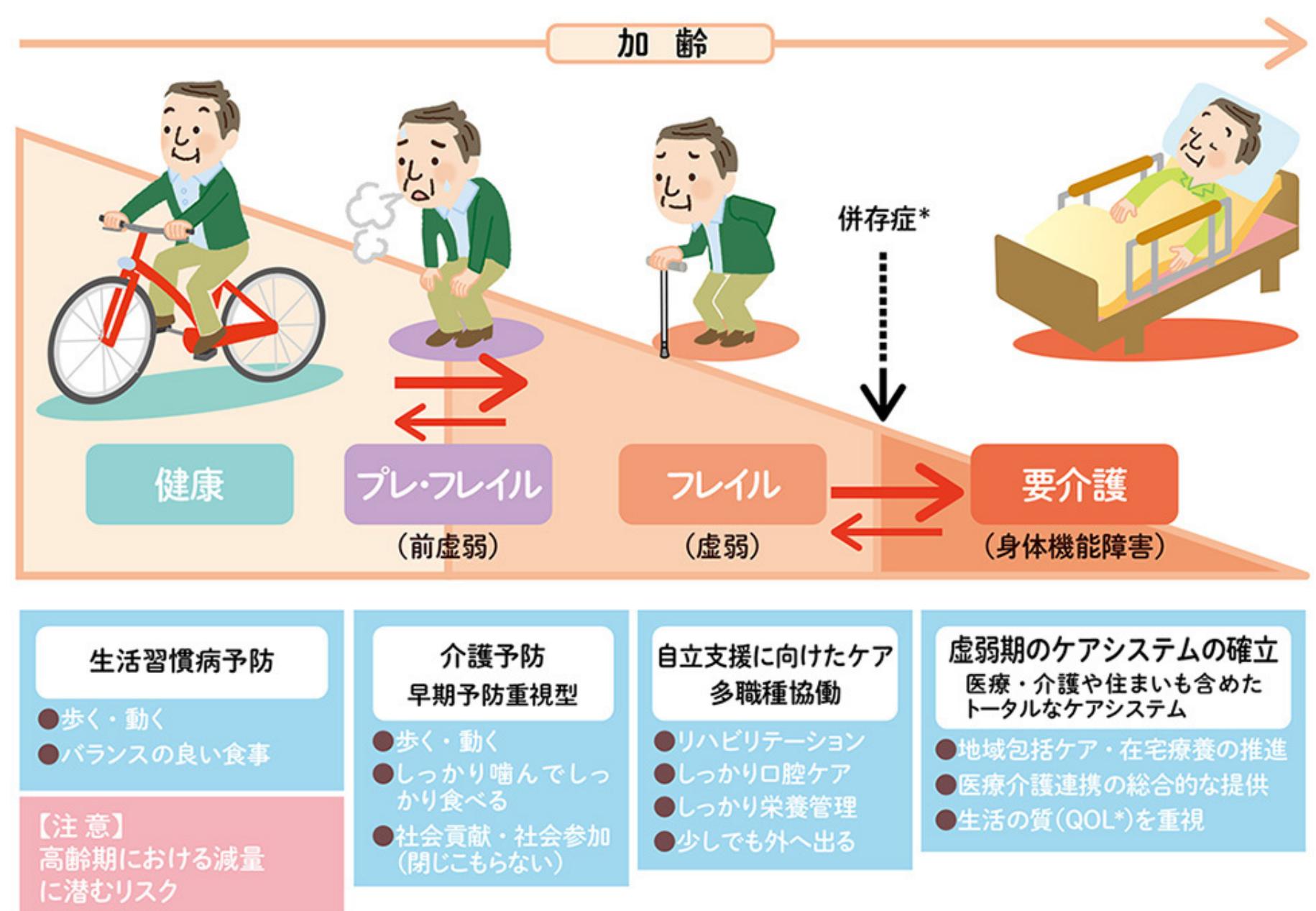
0120-939-095

コロナによるフレイルにご用心

フレイルって??

人は年を取ると段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならないまでも手助けや介護が必要となってきます。このように心と体の働きが弱くなってきた状態をフレイル（虚弱）と呼びます

参照：公益財団法人 東京都医師会HPより
<https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/frailty>



自粛生活によるフレイルの進行が問題となっています

右の図にある通り、活動量の低下、筋肉量、筋力の低下が、食欲の減退を招き、低栄養の状態が続くと、さらなる筋肉量の低下を招くという悪循環に陥ってしまいます。



過度なコロナによる自粛生活はフレイルの進行の可能性を高めてしまします



※サルコペニアとは、筋肉量が低下して、筋力低下や身体機能低下をきたした状態を指します。

そうはいってもやっぱり
感染が心配・・・



感染時の重症化リスクが高いご高齢者様、そのご家族の皆様がご心配されるお気持ちちはよくわかります。一方で上のようなフレイルの進行リスクが高いのもご高齢者様です。
感染予防と身体活動の維持、両方のバランスを保つことが大切だと我々は考えます。

我々アイリス治療院は訪問でお伺いするため、多人数が密になることは避けられる分、比較的リスクが少なくサービスを受けていただけると考えます。感染対策を徹底しながら皆様のフレイル予防に尽力致します。

